

旭小学校

かわら版

学校通信

- ・かしこい子
- ・やさしい子
- ・たくましい子



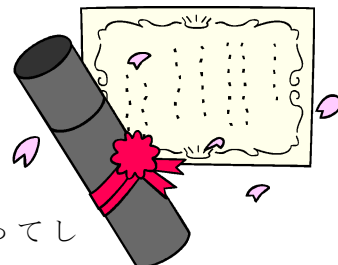
令和3年3月24日号

## 希望を胸に109名が巣立ちます

本日109名が6年間の小学校生活を終え卒業しました。

これから、夢の実現のためそれぞれが巣立っていきます。

新型コロナウイルスの影響で昨年度末より3ヶ月休校となってきました。学校行事も変更、中止せざるを得ない状況でした。しかし、子どもたちには、このような中だからこそ学べたこともあったかと思えます。6年生には、これから輝かしい未来が待っています。卒業生のこれからの大いに期待するとともに幸多からんことを心から願っています。おめでとうございます。



## 一年間ありがとうございました

保護者、地域のみな様のご協力のおかげをもちまして、令和2年度も無事に終えようとしています。本日の卒業式と26日の修了式に子どもたちに手渡される通知表を読みながら、どの子も一年で大きく成長したなど実感しました。子どもは社会の宝です。これからも保護者、学校、地域が手を取り合って子どもたちの未来のために成長を支えていきたいと願っております。引き続きご支援をお願いいたします。

幸福学の権威前野慶応大学教授が「幸福になる要素」として4つ挙げています。

- 1 (ワクワクするような)やりたいことがあること
- 2 つながりが(できるだけ多様に)あること
- 3 誰かのためになること(利他)と感謝されること
- 4 なるようになる、と思うこと

これは、どれも他人とのふれ合いでしか育たないものといえます。どんなにAIが発達しても人間に取って代わることはできないでしょう。それは、人間はヒトの中でしか育たないし、生きられないからです。これは、今年度の休校期間を通して強く感じたことです。保護者や地域のみなさんが進んで、この要素を子どもたちに示して下さったことが、旭小学校の何よりの財産であると思っています。大変ありがとうございました。



## 旭小の伝統を受け継ぎます

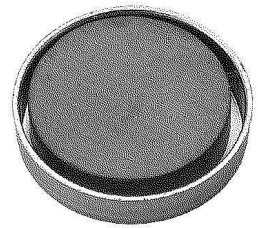
感染予防のため、今年度も在校生は卒業式に参加しません。そこで、先日行われた予行に参加し、卒業生の言葉を聞きました。先輩の思いを受け継いで最上級生になる気持ちが高まりましたことでしょう。

### 卒業式式辞

みなさんは何のために中学校へ進学するのでしょうか。ここで「学校で学ぶ」ということについて考えてみるために1つの例をお目にかけてみましょう。ここに黒いフェライトという磁石があります。磁石には金属でできたキャップが着いていることがあります。さて、このキャップは何のために着いていると思いますか。

「キャップはフェライト磁石が割れないように保護するため」と思った人が多いでしょう。もしかしたら「金属のキャップがあると、磁石の力が大きくなるのではないか」と考える人もいるかもしれません。さあ、どうでしょうか。

そこで、中身の磁石だけとキャップをかぶせた状態で、それぞれこの重い鉄の文鎮を持ち上げてみます。差が出るでしょうか。みなさん、どう思いますか。このキャップは軟鉄と呼ばれるただの鉄で磁石ではありません。



結果は、磁石だけでは文鎮は持ち上がりません。しかし、キャップを着けると文鎮を持ち上げることができます。鉄のキャップを着けると磁石の力が強くなるのです。実は、黒いフェライトよりも鉄のほうが磁石になりやすいのです。そこで、鉄のキャップを着けると、フェライト磁石の磁力で鉄はフェライト磁石よりもずっと強い磁石になるのです。しかし、鉄は磁石から離れると簡単に磁石の性質を失ってしまいます。

フェライトと鉄は違った性質をもっています。それが一緒になることで互いの力を引き出し合うのです。同じようにみなさん一人ひとりの中にそれぞれ違った才能があります。ところが、その力を引き出すためには、自分と違うものの存在が必要なのです。今だって「鉄のキャップが磁石を強めるかも知れない」と思いついた人がいなければ、みなさん気づかないままだったことでしょう。

このように先生や友だちや学問や部活などとの出会いがあなたの可能性を引き出してくれます。特に中学校はそのような出会いが多くある場所です。ぜひ、多くの出会いを経験して自分の可能性を追求して行って下さい。私は、みなさんの未来に期待しています。(磁力が強まるのは黒いフェライト磁石の場合だけです)